

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機廃棄物処理建屋北西エリアおよび他2箇所の滞留水水位における運転上の制限逸脱と復帰について】 10月25日の大雨時における建屋流入実績の評価を行なった際、1号機廃棄物処理建屋北西エリアの滞留水水位と比較対象となる近傍のサブドレン水位との差が実施計画で定める400mmを下回ったことから運転上の制限を逸脱したと判断。 1～4号機周辺の全てのサブドレンの汲み上げを停止。近傍のサブドレンの放射能分析の結果、有意な放射能濃度の上昇はなし。 なお、当該エリアは水が無いため、水位計は露出しており、水位計の警報を停止していた。 さらに、水位計が露出している箇所について過去の水位差を確認した結果、1号機廃棄物処理建屋南西エリアおよび2号機タービン建屋北東エリアの2箇所についても周辺サブドレン水位との差が実施計画で定める400mmを下回っていたことを確認し、運転上の制限を逸脱したと判断。 この時点で2箇所ともにサブドレン水位との水位差は、400mmを上回っていた。1号機廃棄物処理建屋南西エリアは実測にて水が無いことを確認。 その後、仮設ポンプによる排水を実施したところ、各エリア滞留水水位とサブドレン水位との差が実施計画で定める400mmを上回ったことを確認。 このため、運転上の制限逸脱から復帰したと判断したことから、停止していたサブドレンの汲み上げを再開。</p>	G I	10月28日
2	<p>【地下水バイパス設備 揚水受タンク(A)の水位計の動作不良について】 地下水バイパス設備 揚水受タンク(A)の水位計の指示値に水位高側への急変、および、水位高警報の発生・復帰の頻発を確認。 現場確認の結果、タンク廻りに異常なしを確認。 タンクに接続する揚水井の汲み上げポンプを停止。 地下水バイパス設備は、揚水受タンク(B・C)により運用可能。 今後、水位計を交換予定。</p>	G III	10月26日
3	<p>【1号機 滞留残水排水設備 操作・監視装置用端末機の不具合について】 1号機 滞留残水排水設備 操作・監視装置用端末機(1)のハードディスク1に異常を示す警報の発生を確認。 なお、端末機は2重化されており、各端末機のハードディスクも2重化されているため、当該設備の運転操作及び監視に影響なし。 今後、端末機(1)を修理予定。</p>	G III	10月28日
4	<p>【1/2号機排気筒解体工事における筒身解体装置からの金具の落下について】 1/2号機排気筒解体工事における筒身解体装置設置中に、排気筒付属の電線管切断時に電線管を把持し落下を防止する金具が排気筒真下に落下した。 人身、設備への被害はなし。 原因は、筒身解体装置の油圧ハンドと金具を繋ぐ落下防止線(ワイヤーロープ)の取付け漏れと判明。 対策として、金具の把持状態の確認方法の見直し、および落下防止線の取付け漏れを防止するための確認手順の見直しを行なった。</p>	G III	10月27日
5	<p>【5号機残留熱除去系(A系)の系統圧力「低」検出用圧カスイッチ(A)の設定値ずれについて】 5号機残留熱除去系(A系)の系統圧力調整操作の際、残留熱除去系ポンプ(A)吐出側の系統圧力「低」検出用圧カスイッチ(A)の動作設定値および復帰値に下方側へのずれを確認。 系統圧力の調整ならびに監視は、中央操作室の残留熱除去系圧力計(A)で対応可能。 今後、圧カスイッチを点検・校正予定。</p>	G III	10月29日